

生物多様性保全のための沖合域における海洋保護区の設定  
についての検討の経過及び今後の予定について

これまでの経緯

- ・ 5月28日 中央環境審議会自然環境部会（諮問）
- ・ 6月20日 沖合域における海洋保護区の設定に向けた検討会（第1回）
- ・ 8月17日 沖合域における海洋保護区の設定に向けた検討会（第2回）

平成30年

- ・ 11月12日 中央環境審議会自然環境部会（答申案）
- ・ 12月頃 答申案のパブリックコメントを実施

平成31年

- ・ 1月下旬 中央環境審議会自然環境部会 答申

# 沖合域における海洋保護区の設定に向けた検討会

## 設置要領

### 1. 目的

2018年5月28日に開催された第35回中央環境審議会自然環境部会における議題「海洋環境をはじめとする自然環境の保全につき講ずべき措置について（諮問）」において、沖合域における海洋保護区の設定に向けた検討会を今後2回程度開催して、自然環境部会の答申を得ることが了承された。これを踏まえ、「沖合域における海洋保護区の設定のあり方」を検討するため、沖合域における海洋保護区の設定に向けた検討会（以下「検討会」という。）を設置する。

### 2. 構成

検討会は、別紙に掲げる委員及びオブザーバーとしての関係省庁をもって構成する。

また、必要に応じて、委員以外の有識者等の出席を求めることができる。

### 3. 運営

(1) 検討会には座長を置き、委員の互選により選出する。

(2) 座長は、検討会の議事運営に当たる。

(3) 検討会は、原則として公開する。ただし、公開することが不適切な場合については、座長の判断で非公開とすることができる。

### 4. 事務局

検討会の事務局は、環境省自然環境局自然環境計画課において行う。必要に応じ、事務運営の一部を外部機関に請け負わせることができる。

沖合域における海洋保護区の設定に向けた検討会 名簿

氏名	所属等
岩崎 望	立正大学 教授
大塚 直	早稲田大学法学学術院 教授 中央環境審議会 委員
河野 真理子	早稲田大学法学学術院 教授
齋藤 雄一	石油鉱業連盟（石油資源開発株式会社）
白山 義久	海洋研究開発機構 特任参事 中央環境審議会自然環境部会 臨時委員
福島 朋彦	海洋研究開発機構 海底資源研究開発センター 環境影響評価 研究グループ グループリーダー
藤倉 克則	海洋研究開発機構 海洋生物多様性研究分野 分野長
牧野 光琢	水産研究・教育機構中央水産研究所 経営経済研究センター水産 政策グループ グループ長